

## 林業の成長産業化について

【担当省庁】農林水産省

### 京都府内産木材の利用拡大を図る事業の「森林・林業再生基盤づくり交付金」事業への採択

◆ 京都府は豊かな森林資源を有しており、森林の多面的機能の維持と地域活性化を図るために、林業を成長産業化することが重要である。

このため、国の「森林・林業再生基盤づくり交付金」を活用して、森林資源を効率的に出荷し、これを地域内で加工して実需者に供給する府内産木材の生産・加工・利用に至る循環型林業を基に、地域外への需要の拡大に取り組んでおり、国で概算要求中の「**森林・林業再生基盤づくり交付金**」の予算を確保いただくとともに、**以下の事業を採択**していただきたい。

- 木材加工流通施設整備  
2 箇所（京都市、舞鶴市）、事業費約 9 億円
- 木質バイオマス施設整備  
1 箇所（京丹後市）、事業費約 3 千万円
- 木造公共施設整備  
京都府：京都トレーニングセンター（京丹波町）  
事業費約 2 億円

◆ また、本交付金は、複数年工事が対象とならないが、大規模公共木造建築物は木材の大きな需要が見込め、利用の P R 効果も高いことから、全体計画を承認の上、各年度の進捗に応じて助成するなど、制度を見直していただきたい。

#### <農林水産省の概算要求>

- ◎ 森林・林業再生基盤づくり交付金 50 億円（26 年度予算額 22 億円）  
森林・林業分野における施設・機械の整備等について、都道府県等に対して一体的に支援

【現状・課題等】

◎ 京都府内の間伐材の供給量の推移



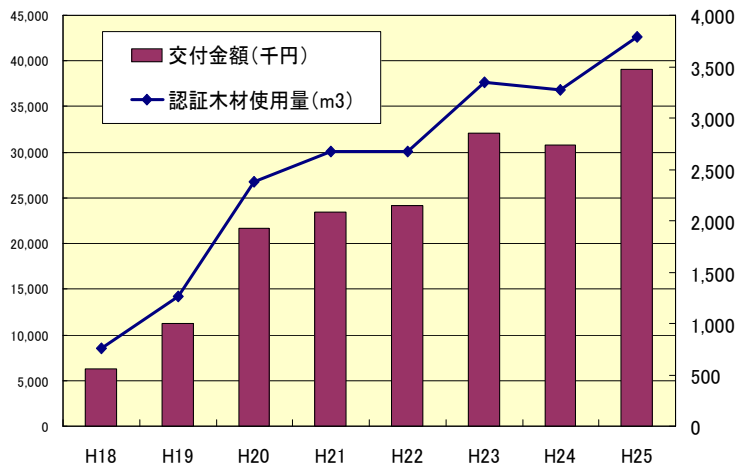
＜間伐材の供給量＞

H20 : 4.8 万 m<sup>3</sup>

↓

H25 : 7.5 万 m<sup>3</sup>

◎ 緑の交付金 交付金額と認証木材使用量の推移



＜緑の交付金活用数＞

※京都で育った木を使った

家づくりに対する交付金

H18 : 40 戸

↓

H25 : 323 戸

◎ 京都トレーニングセンター

- ・ 整備予定地：京都府船井郡京丹波町  
(京都府立丹波自然運動公園内)
- ・ 特徴：府内最大の木造公共施設  
合宿しながら近隣大学と協働して医学的トレーニングを実施（日本初）
- ・ 計画案：トレーニング棟 2,000 m<sup>2</sup>  
宿泊棟（宿泊定員 300 人）3,500 m<sup>2</sup>  
計 5,500 m<sup>2</sup>
- ・ 総事業費：約 23 億円



【京都府の担当課】

農林水産部 林務課 075-414-5016